

え、毎日田相場が激変するなど非常に厳しい現況であります。一日も早い景気の回復と安定を切望するところであります。さて、昨年の十月一日には長野新幹線が開通し、これに伴いしなの鉄道も営業が開始され、東京と小諸市は、約一時間三分で結ばれました。また、高速自動車道の開通により、首都圏中京圏などとも結ばれ、市内におきましても他県ナンバーの車が目立つようになりました。

鉄路や高速道路の利用で大幅にスピードアップされた利便性を生かし、経済、文化交流などを通じて、更なる小諸市の活性化を目指して参りたいと考えております。

小諸市は今、「高原に育む活

力ある詩情公都市・小諸」をテ

ーマに、落ち着いた特色あるま

ちづくりを推進し、子供からお

年寄りまで全ての市民の皆様が

夢と希望のもてる市政の運営に

努めているところであります。

二十世紀に向けたまちづくり

の中から、主な事業の進捗状

況について紹介させていただき

たいと存じます。

車社会の今日、交通緩和と地

域振興のために進めておりまし

た小諸市街地を一周する道路、

いわば東京の山手線のような外

環状線がほぼ完成いたしました

この外環状線は、すでに市街

地の北側、浅間山麓を横断する千

曲川左岸広域農道を基幹に、市

街地の東側と西側に両幹線を南北に結ぶ二本の道路を建設して

いたものです。

去る四月には、市街地と大久

保地籍を結ぶ千曲川に架かる総

延長二百二十七メートルの布引

大橋が完成しました。また、こ

の先線の鴨久保バイパスもほぼ

完成し、サンラインから小諸イ

ンターチェンジを経て、布引大

川左岸広域農道とつながりました。

六月には、国道一四一号バイ

パスの平原交差点と浅間サンラ

インを結ぶグリーンロードが開

通。七月には、千曲川左岸広域

農道が、御影地籍の国道一四一

号バイパスを起点に、北御牧村

境までの約十キロメートルが開

通しました。愛称も「千曲ビュ

ーライン」と命名されたところ

であります。

目前に浅間山や千曲川、遠く

富士山を望む風光明媚なこの外

環状線が、小諸市の新しい名所

の一つとして多くの皆様に親し

まれるようアピールに努めて参

る所存であります。

文化面では、諸区の北側、飯

綱山の山頂において建設を進め

て参りました「市立小諸高原美

術館」、十月六日に竣工式を行

い、翌七日にオープンいたしま

した。

福祉面では、三岡地区に太陽

光発電システムを取り入れたデ

イサービスセンターの建設を進

めているほか、平成十二年に始

まる介護保険制度への対応等、

年々進行する高齢化社会にあつ

て、誰もが安心して老後を過ご

せるよう、努めているところで

あります。

このほか、日々進展する高度

情報化・国際化時代に即応した

施策の推進、企業誘致による工

業の活性化と若者の定着の促進、

商業・農業振興等々、行政課題

は山積しておりますが、これを

新世紀を迎える小諸市発展の試

練としてとらえ、四万五千市民

の英知を結集しより邁進して参

りたいと考えております。

市政の現況の一端をご報告申

し上げましたが、会員の皆様に

おかれましては、折を見て郷里

おきましても他県ナンバーの車

が目立つようになりました。

鉄路や高速道路の利用で大幅

にスピードアップされた利便性

を生かし、経済、文化交流などを

を通じて、更なる小諸市の活性化

を目指して参りたいと考えて

おります。

小諸市は今、「高原に育む活

力ある詩情公都市・小諸」をテ

ーマに、落ち着いた特色あるま

ちづくりを推進し、子供からお

年寄りまで全ての市民の皆様が

夢と希望のもてる市政の運営に

努めているところであります。

二十世紀に向けたまちづくり

の中から、主な事業の進捗状

況について紹介させていただき

たいと存じます。

車社会の今日、交通緩和と地

域振興のために進めておりまし

た小諸市街地を一周する道路、

いわば東京の山手線のような外

環状線がほぼ完成いたしました

この外環状線は、すでに市街

地の北側、浅間山麓を横断する千

曲川左岸広域農道を基幹に、市

街地の東側と西側に両幹線を南北に結ぶ二本の道路を建設して

いたものです。

去る四月には、市街地と大久

保地籍を結ぶ千曲川に架かる総

延長二百二十七メートルの布引

大橋が完成しました。また、こ

の先線の鴨久保バイパスもほぼ

完成し、サンラインから小諸イ

ンターチェンジを経て、布引大

川左岸広域農道とつながりました。

六月には、国道一四一号バイ

パスの平原交差点と浅間サンラ

インを結ぶグリーンロードが開

通。七月には、千曲川左岸広域

農道が、御影地籍の国道一四一

号バイパスを起点に、北御牧村

境までの約十キロメートルが開

通しました。愛称も「千曲ビュ

ーライン」と命名されたところ

であります。

鉄路や高速道路の利用で大幅

にスピードアップされた利便性

を生かし、経済、文化交流などを

を通じて、更なる小諸市の活性化

を目指して参りたいと考えて

おります。

小諸市は今、「高原に育む活

力ある詩情公都市・小諸」をテ

ーマに、落ち着いた特色あるま

ちづくりを推進し、子供からお

年寄りまで全ての市民の皆様が

夢と希望のもてる市政の運営に

努めているところであります。

二十世紀に向けたまちづくり

の中から、主な事業の進捗状

況について紹介させていただき

たいと存じます。

車社会の今日、交通緩和と地

域振興のために進めておりまし

た小諸市街地を一周する道路、

いわば東京の山手線のような外

環状線がほぼ完成いたしました

この外環状線は、すでに市街

地の北側、浅間山麓を横断する千

曲川左岸広域農道を基幹に、市

街地の東側と西側に両幹線を南北に結ぶ二本の道路を建設して

いたものです。

去る四月には、市街地と大久

保地籍を結ぶ千曲川に架かる総

延長二百二十七メートルの布引

大橋が完成しました。また、こ

の先線の鴨久保バイパスもほぼ

完成し、サンラインから小諸イ

ンターチェンジを経て、布引大

川左岸広域農道とつながりました。

六月には、国道一四一号バイ

パスの平原交差点と浅間サンラ

インを結ぶグリーンロードが開

通。七月には、千曲川左岸広域

農道が、御影地籍の国道一四一

号バイパスを起点に、北御牧村

境までの約十キロメートルが開

通しました。愛称も「千曲ビュ

ーライン」と命名されたところ

であります。

鉄路や高速道路の利用で大幅

にスピードアップされた利便性

を生かし、経済、文化交流などを

を通じて、更なる小諸市の活性化

を目指して参りたいと考えて

おります。

小諸市は今、「高原に育む活

力ある詩情公都市・小諸」をテ

ーマに、落ち着いた特色あるま

ちづくりを推進し、子供からお

年寄りまで全ての市民の皆様が

夢と希望のもてる市政の運営に

努めているところであります。

二十世紀に向けたまちづくり

の中から、主な事業の進捗状

況について紹介させていただき

たいと存じます。

車社会の今日、交通緩和と地

域振興のために進めておりまし

た小諸市街地を一周する道路、

いわば東京の山手線のような外

環状線がほぼ完成いたしました

この外環状線は、すでに市街

地の北側、浅間山麓を横断する千

曲川左岸広域農道を基幹に、市

街地の東側と西側に両幹線を南北に結ぶ二本の道路を建設して

いたものです。

去る四月には、市街地と大久

保地籍を結ぶ千曲川に架かる総

延長二百二十七メートルの布引

大橋が完成しました。また、こ

高原美術館 オープン



6日に行った開館式で関係者によるテープカット

270人で開館式
市民は入場優待券



メイン展示室の白鳥画伯

飯綱山公園の「小諸市立高原美術館」(田中良則館長)が七百オーブンした。同美術館は、日本芸術院会員・白鳥映雪画伯とその師・伊東深水の作品を展示したメー

ン展示場と、小諸義塾に関わる三宅克己や丸山晩霞など水彩画を中心とした作品、郷土出身の芸術家の作品を展示する三つの展示室を設けている。また市民の生涯学習の場として利用できる学習エリヤ

や市民展示室を設けて

おり、市民の利用を募っていく。

同館は鉄筋コンクリート一部鉄骨平屋造りで

広さ約二千百平方メー

トル。約十二億円をか

けて建設した。

オープ前日の六日、

関係者約二百七十人で開館式を行った。テー

プカットを済ませた白

鳥画伯は「館が完成し喜びに堪えない。今後

は館への集客が課題で

しょう」と話す。

小諸市は十月の官報に合わせ市民に優待券を発行。券は十二月末まで利用でき、一家庭三人まで無料で観覧できる。「この機会にできるだけ多くの市民に足を運んでほしい」と田中良則館長は話す。

小諸新聞

発行／株式会社小諸市与良／☎23-7007／FAX 23-5665
購読料月840円(税込)／E-mail : knp96@janis.or.jp／毎週金曜日発行

新しい
名譽市民

白鳥映雪さん 塩川忠巳さん

合わせて4人



小諸市名譽市民に日本画家の白鳥映雪(本名・九壽男)さん(86)と前市長の塩川忠巳さん(81)が決まった。

小諸市の名譽市民は文化勲章受章者で洋画家の故小山敬三さん、初代市長で衆議院議員を務めた故小山邦太郎さんと合わせ、四人になった。

名譽市民に推薦され

た白鳥映雪さんは、小諸市滝原に生まれ、昭和十八年「生家」が第

六回文展に入選したの

を皮切りに、数々の受賞を重ねた。平成七年には熟四等旭日小綬章を受け、平成九年には

日本芸術院会員に就任

した。十月七日にオーブンする小諸高原美術館に約二百点の大作を寄贈するなど、市の芸術振興に寄与した。

白鳥さんは「生まれた土地で名譽市民に推していただき光榮です。

おり、市民の利用を募つ

ていく。

塩川さんは「恐縮至極です。二十年間市長を務められたのはひとえに市民の協力があったからこそ。今後の市政の発展を心から祈っています」と話し、現在は「長年たまつた身の周りの雑用を整理す

感想を話す。

また、塩川忠巳さんは御影在住。市職員を経て、昭和五十一年から五期二十年の間市長として市政推進のけん引役を務めた。産業、経済、教育、文化の多岐にわたる礎を築き、平成八年、市長を勇退した。

塩川さんは「恐縮至極です。二十年間市長を務められたのはひとえに市民の協力があつたからこそ。今後の市政の発展を心から祈っています」と話し、現在は「長年たまつた身の周りの雑用を整理す

る毎日」という。

（メモ・名譽市民）名譽市民は「世の敬仰を受けた本市住民または故の深い者」に条例により称号を贈り、名譽市民章を付与するものとされ、「市政の進展に功績があった者」「文化、産業、経済の進展に功績があった者」「市政の進展に特に功績があった者」のいずれに該当することが条件。

選考は、市長が委嘱する市会議員十二人で構成する委員会で行い、推薦者を市に答申、市長が推挙し議会が決する。今回の選考委員長は森住輝雄議員が務めた。

考委員長は佐久市の名譽市民は小諸市と同数の四人。画家の平山郁夫のほか、故人で初代市長の依田勇さん、代議士の井出一太郎さん、美術年鑑社社長の油井二さん。

躍進する香坂グループ

株式会社 香坂建設

信濃培養土株式会社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シンコー土地

代表取締役 山崎 武信

本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184(代)

信濃培養土(株) ☎0267-22-5439

(株)シンコー土地 ☎0267-25-2111



信州博小諸の日に大好評頂きました

ほなほの言葉です



地元浅間高原産の一級品の原料を使用しています。

郷土の特産として、贈答品、おみやげとして、御利用ください。

3本詰め、6本詰め、10本詰めなど御座います。
多少にかかわらず全国発送致します。

平成4年度長野県園芸特産展入賞

小諸市推薦土産品認定品

株式会社 高嶺商公
TEL 0267-22-3832
FAX 0267-22-4396

小諸市和田547-21

1 第41846号

【明治25年3月15日第三種郵便物認可】

「あさま」1年

新幹線 人もよう街模様

3

が相次ぎ、東信の大商業地になる可能性がある】

豊科町)が、佐久平駅近くでより強くなる。

駅周辺の施設として最初にオープンした「佐久平アラザ21」は、各部門とも「売上

り上げ目標には届いていた

が、本當にみんな出

につなげたい」といったと

の整備を進めている。

新幹線佐久平駅前区画整理地域内では信

州ジャスコ(松本市)を核

り場面積は少なくとも六万

は二十万~三十万人。「大

佐久平駅は、取り巻く街並

市が九七年度から着手した

お城口再開発事業は約二

三社が対象だ。

駅周辺の大型店の経営者一部をえた商店入口

開業で生まれ変わった駅

舎、ホテルやアクセス道路

整備がほぼ終わった温泉口

は「商業集積が進めば、集

客力もアップする」と期待

している。今後を計りかねて

をかける。

だが、佐久地方に上小地

五輪効果が加わった長野

三社が対象だ。

駅周辺は、取り巻く街並

百平方ばかり八千八百平方

平方米を超過、来春オーブ

ンの予定だ。ベイシア(群

馬県伊勢崎市)が核店舗の

平方以上を超過する」と佐久商

型店同士の競争が熾烈になるのは間違いない

工會議所。「駅周辺だけで

約一萬二千平方だと五階建

の課題も抱えている。佐

約一万二千平方だと五階建

の課題も抱えている。佐

文豪島崎藤村が三ヶ月間
暮らしたフランス・リモー
ジュ市に藤村記念館を設立
する計画が進展していない
ことが二十六日、小諸市相
生町の市民会館で開かれた
第二十五回島崎藤村学会全
国大会で報告された。報告
した県国語文学会顧問の
東栄蔵さんは、学会として
渡仮し、設立を働きかける
東さんは昨年六月、小諸
市内のグループ「平成小諸
義塾」の講師として、藤村
の足跡を訪ねるフランス旅
行をし、その際にロデ・リ
モージュ市長が「藤村が過
ごした家を市として記念館
にする」と明言した。しか
しその後、同市と連絡を取
ると、計画がまったく進ん
だといふ。東さんは「藤村が住んだ
家の現在の住人とりモージュ
市の間で恩恵の疎通がない
ことが問題。リモージュ
を描いた作品は藤村文学に
大きな特色を残しており
学会が住人と話し合いをして
し、記念館にする」と力を
こめて訴えた。東さんは「藤
村が三ヶ月間暮らした地
域に記念館があることは、藤
村の死後も島崎藤村の名前
が残るうえで、島崎藤村の
名前が残るうえで、島崎藤
村の名前が残るうえで、島崎
藤村の名前が残るうえで、島
崎藤村の名前が残るうえで、
い」とが分かった。

記念館実現へ「渡仏を」
小諸島崎藤村学会で提言

さらに「学会や小諸市など
が協力してカンパを募り
リモージュ市に寄付し
画を後押し」と呼び
掛けた。

観光客入り
懐古園
昨年
34万人
↓
今年
28万5千人

月間で、県内の観光地のうち二十一ヶ所を選んで観光客数を調べたこのうち懐古園は昨年三十四万人を動向したが、今年は二十八万五千人と前年度を五万五

逆に前年より觀光客
が増えたのは七カ所で
特に善光寺や北斎館な
ど北信濃方面は入り込
みが良く、県では新幹
線効果とみている。

にぎやかな演奏を披露するドイツ・ネルトリンゲン少年音楽隊

第41848号 明治25年3月15日第三種郵便物

「書名 美不校がある
レ：東京へ出掛けた翌日 への遅れが原因で早朝
よ」愛知・岐阜両県に接する「東京証券取引所一部指 定通知書贈与式」に出席す
する下伊那郡根羽村の小木曾貫二村長が話す。人口千五百人余の山村。特産品P.R.や陳情で年に幾度も東京へ行くが、これまで名古屋経由で東海道新幹線か、野経由で中央東線を使つていた。このルートに、長野経由の北陸新幹線「あさくら」が加わった。
長野市の県庁へ出掛けた後で上京したり、東京の帰りに長野へ立ち寄る。「長野から東京まで一時間半なり、感謝している。若い職員もばんばん使ってい

る」
新幹線「あさま」は沿線住民だけでも、中南信で出張が多い人たちに利用され始めている。
八月三十一日、長野銀行(松本市)の幹部行員四人会が多い松本バルコニーの村山晃史・店長次代理は「東京実績は新幹線が前年の倍以上」と話す。
仕事柄東京へ出かける機会にまとめた今夏(七月十七日～八月十八日)の利用JR東日本長野支社が八月三十日、長野銀行(松本市)の幹部行員四人会が多い松本バルコニーの村山晃史・店長次代理は「東京実績は新幹線が前年の倍以上」と話す。

中南信の足 「あさま」

中南信の足

「あずさ」利用微妙な変化

新幹線網の便利性が実感されるにつれ、中央東線の影響が薄くなる。中南信地方の行政、商工会議所などが、「中央東線超高速化実現期成同盟会」(会長・有賀松本市長、加盟百九十五団体)を組織。あすさの時間短縮実現に向けた研究を取り組んでいる。現実には、難所が多い東京—山梨県境などのルートの整備が急務で、JRとの調整、費用のねん出といった難題があるのではないか。り、容易ではない。

「信州はもともと信越線」と中央東線の「二眼レフ」で首都圏と結びついていた。県も国も、広域的なな通路の課題として、受け止

「日本ロマンチック街道協会」（会長・市川紘一郎
草津町長）は十日、同協会が定めた「日本ロマンチック街道の日」の記念式典を開いた。小諸市のホテルで開いた。同街道は、当初は小諸市から群馬県草津町を通り、木県日光市までを結ぶルートだったが、その後上田市や栃木県宇都宮市などを加わった。現在、沿線二十七市町村が協会をつくり、街道を巡りシステムを実施し、観光活性化を図っている。式典は、ドイツロマンチ

ツク街道協会との姉妹締結十周年の記念も兼ね、県内などの沿線市町村関係者とドイツ同協会の訪日メンバーら合わせて約百四十人が出席。小林俊弘・小諸市長が主催者を代表して「日本ロマンチック街道はドイツ的な景観が多い。日独の詩人らがここで作品を残せるような文化交流も今後期待したい」とあいさつした。懇親会で、十一二十代の男性六十五人で構成するドイツ・ネルトリングン少年音楽隊が記念演奏を披露。会場の雰囲気を和ませた。

「あさま」
一年

新幹線 人もよう街模様

5

中央東線の特急あずさ。新幹線あやまち号と首都圏を結ぶ幹線の比重を変え始めている=松本駅南側で

で減ったが、徐々に増え、七月は五千七百四十人になつた。新幹線利用の客が少くないところ、同村内

8.19. 木
チヅク街道協会　日独のロマン “記念日”にちなみ式典
姉妹締結10年 小諸で祝う

旅情の町、やすらぎとロマンにひたるリゾートホテル

信州名産品コーナー

展望大浴場とサウナ
小諸温泉
フルスカイ
湯っこり、湯ったり、湯ートビア

小諸懐古園の隣

小諸グランドキャッスルホテル
小諸市古城1-1-5 0267(22)8000

小諸グランドキャッスルホテル姉妹店

本格派 信州そば処

宗家 内藤流石白挽 手打そば本舗

ふぐや

小諸市大手1-3-9 0267(22)2483

KIKKOMAN

食の、あたらしい風



原料 大豆として良質の丸大豆を100%使用

キッコーマン特選丸大豆しょうゆ

まろやかな風味、深みのあるうまい、やわらかな口あたり。
「つけ」「かけ」「煮物」に、丸大豆100%のおいしさをどうぞ。

佐久の地酒・山謙酒造の花シリーズ

吟醸酒 純米酒

本醸造

すく瀬

小諸すみれ

水は浅間の伏流水。

米は山田錦・美山錦を主原料
に、酒造りの命である、麹造
りはむろんのこと、壺詰に至る
まですべて伝統にのつとつた
手造りの地酒です。

郷里からの贈り物にぜひご活
用ください。

銘醸藏 山謙酒造店

長野県小諸市市町一ー一一二
TEL/FAX 0267-31-0027

絶景とお風呂で
シアワセ宴会会
常盤館

雲の助誕生

登山電車でトロッコ登つて
標高1,000mの眺望と爽快さ。
展望露天風呂





小諸そば

株式会社 三ツ和小諸そば事業部
本社 〒104 東京都中央区新川2丁目13番8号 ☎ 03(3555)0092

高峯高原で育った 本場の「手打そば」

長野県小諸市本町入口 〒384
☎ 0267(22) 0820(大駐車場完備)



丁子庵

城下町「小諸」・北国街道の蔵

社長 依田昌平

土産とお泊りは

高峯高原の
自然につつまれた
丁子屋高峯山莊



土産に本物の味を
高峯高原の霧の深く流れれる黒土でとれた
たるそば粉。きつかい創業以来14
0年の伝統ある製造により生まれた
「信州そば」は風味・甘味・歯ざわ
りがよく、最高の「信州の土産」であ
るとお客様に評判が良いです。

高峯高原の
四季を通じて楽しめる高原の宿です。
野鳥がささやき、山菜狩りがうれしい
春は野球・サッカー・ラグビー
などスポーツや学校の合宿に人気がありま
す。
秋は紅葉の下でのギフト
冬は雪遊びのスキー
が楽しめます。
ご宿泊下さい。お
客様70名
定員

● 0267
3612384
②2256
39120
267
384
社長 依田太兵衛



健康を贈る 山吹味噌の特長—

天然、自然の条件を何よりも尊重し
味噌に最適な原料を選び
昔ながらのみそ造りの長所を守り
量産にこだわらず、自然の味のみを
追求しています。

味噌づくり300余年——

山吹味噌

信州味噌株式会社

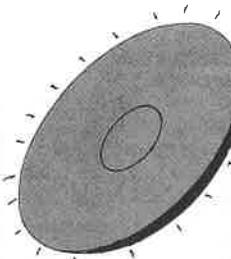
本社／〒161 東京都新宿区下落合3-17-38

TEL 03-3951-1141(代)

工場／〒384 長野県小諸市荒町1-7-11

TEL 0267-22-0007(代)

MUSIC IS COMMUNICATION



レコード・CD・レーザーディスク・ビデオソフト

京橋堂

会 員 萩 原 春
専 務 原 久 子
代 表 取 締 役 社 会 員 原 之

本社 中央区京橋2-5-17 京橋堂ビル
TEL 3561-1451 FAX 3561-6987

DOTONE

ヨーロッパタイプの小ぶりなコーヒーショップ

ドトールコーヒーショップ京橋駅前店

TEL (3564) 2570

代表取締役 萩原邦之

手打そば
松葵庵

产地——浅間高原霧下そば、小諸市丁子庵姉妹店

代表取締役 萩原秀彦
中央区京橋2-5-17 京橋堂ビル
電話 03 (3561) 0013

東京小諸会平成10年度総会・大懇親会御出席回答者名簿

平成10年11月14日(土)
如水会館にて
(敬称略・会員は五十音順)

来賓	会員																												
<p>経済評論家・財界研究所名誉会長 衆議院議員・元内閣総理大臣 長野県議会議員 小諸市名誉市民・前市長 小諸市長 小諸市議会議長 小諸市議副議長 小諸市監査委員・市議会議員 長野県東京事務所次長 " 主事 長野県人会連合会専務理事 東京滑川会会长 " 副会長 " 副会長 東京上田会副会長 株式会社三ツ和会会長 陳徳文南京大学教授御長女 小諸市議会総務常任委員長 " 社会文教常任委員長 " 建設常任委員長 " 経済常任委員長 " 議会運営委員長 小諸市農業委員会会长 小諸商工会議所会頭 " 副会頭 " 副会頭 " 専務理事 浅間農業協同組合組合長 小諸市区長会会长 小諸市観光协会会长 " 顧問令夫人 小諸青年会議所監事 小諸新聞社社長 小諸市助役 " 収入役 " 教育長 " 企画財政部長 " 総務部長 " 庶務課長 " 庶務課秘書課長 " 企画課 " 庶務課秘書課 " "</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【あ】</th> <th>【い】</th> <th>【う】</th> <th>【お】</th> <th>【か】</th> <th>【き】</th> <th>【く】</th> <th>【こ】</th> <th>【つ】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三鬼陽之助 羽田孜(狸)</td><td>相場勝彦(南町) 雨宮憲治(六供) 甘利英文(乘瀬) 有坂美保子</td><td>井出頼子(柏木) 市川源太郎(特) 岩崎生子(相生町) 今井文子(耳取)</td><td>白田誠人(紺屋町)</td><td>小野澤秋典(井子) 小野澤七郎(井子) 小山田純一(北大井) 大井文春(川辺) 大井喜久夫(東雲区) 大村高芳(芝生田) 岡部幸美(南町) 荻原隆(菱野) 荻原堯春(佐久市) 荻原富久子(小諸本町) 大塚光雄(赤坂)</td><td>加川悠紀男(与良町) 笠間弘(小諸) 金井たき子(御影) 掛川好重(本町) 掛川国雄(大手) 春日孝敬(南町)</td><td>木内丈司(新町) 木下嶺夫(赤坂) 木俣宗子(柏木) 岸川貞男(石峠) 岸川初枝(石峠) 北村尚巳(石原町)</td><td>工藤秀男(六供)</td><td>小泉好里(川辺) 小沼義雄(与良町) 小林貫一(菱野)</td><td>小林博(芝生田) 小林国喜(芝生田) 小林昭治(耳取) 小林悦三(松井) 小林裕(小原) 小林利子(相生町) 小宮山栄(鶴巻町) 小山令二郎(赤坂) 小山洋之介(市町) 小山清吾(与良町) 小山晴之助(市町) 小神津進(中松井) 小林幸治(耳取)</td><td>佐藤鐵也(鶴巻町) 酒井福人(和田) 桜井ふみ(小原)</td><td>佐藤範男(南町) 清水博夫(古城) 清水庸三(宮沢) 清水幾男(宮沢) 清水正康(小原) 水川正毅(乘瀬) 水川鳥白(本町) 水川鳥ひさじ(新町) 水川鳥伍郎(滝原)</td><td>須江賢一(芝生田) 須田武久(大手) 須田正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 須木裕子(本町)</td><td>須江一郎(芝生田) 須田武正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 田中野雄二郎(荒町) 田中野勇(御影) 田中野博(滋野牧家) 高橋昭平(相生町) 高橋安夫(耳取) 高橋慶寿(耳取) 高橋寿子(平原)</td><td>山崎芳子(与良町) 山田登(本町) 山田益英(糖地) 山本操子(荒町) 柳澤直樹(与良町) 柳澤弥幸(滝原)</td><td>室賀いく子(三国村) 森博信(三和)</td><td>【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】</td><td>遠山岩雄(末広町) 中村和巳(市村) 中村浩子(市村) 中村美子(三岡村) 西岡寿美子(本町) 垂澤晴子(上田市) 垂澤弘志(相生町) 垂澤嘉雄(相生町) 沼田淳(与良町) 野村花見(大里) 橋爪清己(田町) 舟田秋生(平原) 三浦義彦(佐久市) 三浦房子(佐久市) 宮山栄二(赤坂) 依田博隆(大久保) 渡辺義知(加増)</td><td>【と】 【な】 【に】 【ぬ】 【の】 【は】 【ふ】 【み】 【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】</td></tr> </tbody> </table>	【あ】	【い】	【う】	【お】	【か】	【き】	【く】	【こ】	【つ】	三鬼陽之助 羽田孜(狸)	相場勝彦(南町) 雨宮憲治(六供) 甘利英文(乘瀬) 有坂美保子	井出頼子(柏木) 市川源太郎(特) 岩崎生子(相生町) 今井文子(耳取)	白田誠人(紺屋町)	小野澤秋典(井子) 小野澤七郎(井子) 小山田純一(北大井) 大井文春(川辺) 大井喜久夫(東雲区) 大村高芳(芝生田) 岡部幸美(南町) 荻原隆(菱野) 荻原堯春(佐久市) 荻原富久子(小諸本町) 大塚光雄(赤坂)	加川悠紀男(与良町) 笠間弘(小諸) 金井たき子(御影) 掛川好重(本町) 掛川国雄(大手) 春日孝敬(南町)	木内丈司(新町) 木下嶺夫(赤坂) 木俣宗子(柏木) 岸川貞男(石峠) 岸川初枝(石峠) 北村尚巳(石原町)	工藤秀男(六供)	小泉好里(川辺) 小沼義雄(与良町) 小林貫一(菱野)	小林博(芝生田) 小林国喜(芝生田) 小林昭治(耳取) 小林悦三(松井) 小林裕(小原) 小林利子(相生町) 小宮山栄(鶴巻町) 小山令二郎(赤坂) 小山洋之介(市町) 小山清吾(与良町) 小山晴之助(市町) 小神津進(中松井) 小林幸治(耳取)	佐藤鐵也(鶴巻町) 酒井福人(和田) 桜井ふみ(小原)	佐藤範男(南町) 清水博夫(古城) 清水庸三(宮沢) 清水幾男(宮沢) 清水正康(小原) 水川正毅(乘瀬) 水川鳥白(本町) 水川鳥ひさじ(新町) 水川鳥伍郎(滝原)	須江賢一(芝生田) 須田武久(大手) 須田正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 須木裕子(本町)	須江一郎(芝生田) 須田武正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 田中野雄二郎(荒町) 田中野勇(御影) 田中野博(滋野牧家) 高橋昭平(相生町) 高橋安夫(耳取) 高橋慶寿(耳取) 高橋寿子(平原)	山崎芳子(与良町) 山田登(本町) 山田益英(糖地) 山本操子(荒町) 柳澤直樹(与良町) 柳澤弥幸(滝原)	室賀いく子(三国村) 森博信(三和)	【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】	遠山岩雄(末広町) 中村和巳(市村) 中村浩子(市村) 中村美子(三岡村) 西岡寿美子(本町) 垂澤晴子(上田市) 垂澤弘志(相生町) 垂澤嘉雄(相生町) 沼田淳(与良町) 野村花見(大里) 橋爪清己(田町) 舟田秋生(平原) 三浦義彦(佐久市) 三浦房子(佐久市) 宮山栄二(赤坂) 依田博隆(大久保) 渡辺義知(加増)	【と】 【な】 【に】 【ぬ】 【の】 【は】 【ふ】 【み】 【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】
【あ】	【い】	【う】	【お】	【か】	【き】	【く】	【こ】	【つ】																					
三鬼陽之助 羽田孜(狸)	相場勝彦(南町) 雨宮憲治(六供) 甘利英文(乘瀬) 有坂美保子	井出頼子(柏木) 市川源太郎(特) 岩崎生子(相生町) 今井文子(耳取)	白田誠人(紺屋町)	小野澤秋典(井子) 小野澤七郎(井子) 小山田純一(北大井) 大井文春(川辺) 大井喜久夫(東雲区) 大村高芳(芝生田) 岡部幸美(南町) 荻原隆(菱野) 荻原堯春(佐久市) 荻原富久子(小諸本町) 大塚光雄(赤坂)	加川悠紀男(与良町) 笠間弘(小諸) 金井たき子(御影) 掛川好重(本町) 掛川国雄(大手) 春日孝敬(南町)	木内丈司(新町) 木下嶺夫(赤坂) 木俣宗子(柏木) 岸川貞男(石峠) 岸川初枝(石峠) 北村尚巳(石原町)	工藤秀男(六供)	小泉好里(川辺) 小沼義雄(与良町) 小林貫一(菱野)	小林博(芝生田) 小林国喜(芝生田) 小林昭治(耳取) 小林悦三(松井) 小林裕(小原) 小林利子(相生町) 小宮山栄(鶴巻町) 小山令二郎(赤坂) 小山洋之介(市町) 小山清吾(与良町) 小山晴之助(市町) 小神津進(中松井) 小林幸治(耳取)	佐藤鐵也(鶴巻町) 酒井福人(和田) 桜井ふみ(小原)	佐藤範男(南町) 清水博夫(古城) 清水庸三(宮沢) 清水幾男(宮沢) 清水正康(小原) 水川正毅(乘瀬) 水川鳥白(本町) 水川鳥ひさじ(新町) 水川鳥伍郎(滝原)	須江賢一(芝生田) 須田武久(大手) 須田正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 須木裕子(本町)	須江一郎(芝生田) 須田武正男(本町) 須木木辰(軽井沢) 田中野雄二郎(荒町) 田中野勇(御影) 田中野博(滋野牧家) 高橋昭平(相生町) 高橋安夫(耳取) 高橋慶寿(耳取) 高橋寿子(平原)	山崎芳子(与良町) 山田登(本町) 山田益英(糖地) 山本操子(荒町) 柳澤直樹(与良町) 柳澤弥幸(滝原)	室賀いく子(三国村) 森博信(三和)	【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】	遠山岩雄(末広町) 中村和巳(市村) 中村浩子(市村) 中村美子(三岡村) 西岡寿美子(本町) 垂澤晴子(上田市) 垂澤弘志(相生町) 垂澤嘉雄(相生町) 沼田淳(与良町) 野村花見(大里) 橋爪清己(田町) 舟田秋生(平原) 三浦義彦(佐久市) 三浦房子(佐久市) 宮山栄二(赤坂) 依田博隆(大久保) 渡辺義知(加増)	【と】 【な】 【に】 【ぬ】 【の】 【は】 【ふ】 【み】 【む】 【も】 【や】 【よ】 【わ】											

監

事

(会計)

理常務理事
事会計

副会長

顧問

東京小諸会役員

吉土渡柳宮中鈴須白塩清小小銀北木岡大甘相依高小小小荻小市饗蕙湯堀白羽塩香小小小小井
澤屋邊澤山村木田鳥川水山山川村内部池利場田橋林山山原山川場澤本込鳥田川坂山山林林出
洋庫富田
正佳義紀栄美裕武ひ信博陽厚栄尚丈幸あ勝博昭之清荷久純源章嘉正征映忠峰五俊忠正
代さ太三さ
人子知子ニ子子久じ俊夫郎郎治巳司美の孝彦隆平博介吾供子一郎雄雄夫雄雪孜巳勝男郎弘司

(平成十年十一月現在・五十音順)